

北欧の近代文字



2005年6月13日～7月16日(日曜日を除く)←

東海大学付属図書館←

11号館分館展示室←

～展示の歩み～

- 1981年 4月 11号館分館・開館記念展示
11月 源氏物語の本文と評訳 源氏物語展示会
- 1982年 4月 日本出版印刷文化史展
11月 源氏物語系図展
- 1983年 4月 東海大学所蔵 日本の古典文学と王子台逸跡遺物
10月 近世儒者書簡展
- 1984年 5月 特別図書展示 西洋研究古典
11月 外国人の書き描いた日本 -キリスト教伝来から明治時代まで-
- 1985年 4月 古典文学へのいざない
11月 新収特別図書展
- 1986年 4月 日本漫遊 一江戸時代-
11月 サイエンスプロムナード -19世紀までの科学・技術書展-
- 1987年 5月 哲学者カント -20世紀末に人間を考える-
11月 東海大学所蔵 桃園文庫展 -物語文学を中心として-
- 1988年 6月 ノーベル賞の系譜 -物理、化学、生理・医学 1901~1950-
11月 東海大学所蔵 桃園文庫展
-隨筆、日記・紀行、詩歌を中心として-
- 1989年 6月 名著の世界 -教科書からのアプローチ-
11月 資料にみるフランス革命
- 1990年 6月 A列車で行こう -JAZZの旅-
11月 かながわむかし歩き
- 1991年 6月 知ってるつもり!? -江戸後期の農村-
- 1993年 7月 東海大学附属図書館 特別図書展
10月 日本の詩歌展 -室町時代まで-
- 1994年 10月 書物にみる近代化への歩み
-16世紀から19世紀までのヨーロッパを中心として-
- 1995年 7月 たとえばこんな辞書もある -国語の辞書展-
- 1998年 1月 江戸の旅
5月 桃園文庫のなかの徒然草
11月 外国人の見た日本 -幕末から明治初期まで-
- 1999年 5月 江戸ウォーカー
11月 グルントヴィ展 -デンマーク国民教育の父-
- 2000年 5月 平安文流文学と絵に見る平安の世界
11月 和紙再発見 -Japanese Paper-
- 2001年 6月 500年の時を超えて 一連歌師宗祇展-
11月 松前重義博士の本棚
-グルントヴィ・内村鑑三・新渡戸稻造・松前重義博士の主な著作展-
- 2002年 5月 書物の文化史 書物探求~文字・印刷・装丁の歴史と多様性
11月 王朝文学と音楽 -写本によりがえる音色-
- 2003年 5月 TABI 大名行列から大航海時代 -日本と世界・旅の姿-
11月 劇作家 北條秀司
- 2004年 5月 むかしのくらし
11月 北條秀司の舞台
- 2005年 4月 歴史書は語る 一ビザンツ帝国-千年の歴史と歴史書-

展示にあたって

空は青く、森の木々の緑がまぶしい青葉の季節となっていました。

今回の展示は、本学付属図書館所蔵の資料の中から北欧の19世紀以降の近代文学を、児童文学やノーベル文学賞受賞作家を交えてご紹介致します。

北欧は福祉政策、デザイン、建築や情報産業といったものが注目されています。近代文学においても、今年生誕200年を迎えた世界的な詩人・童話作家であるアンデルセンをはじめ、「ムーミンシリーズ」のヤンソンや「長くつ下のピッピ」のリンドグレーンなど数多くの北欧の児童文学作品が世界中に広まっており、日本でも子供から大人まで多くの人々に愛され続けています。

また、「ニルスのふしぎな旅」の作者ラーゲルレーヴなどのノーベル文学賞受賞作家を数多く輩出し、世界中に読まれてきています。

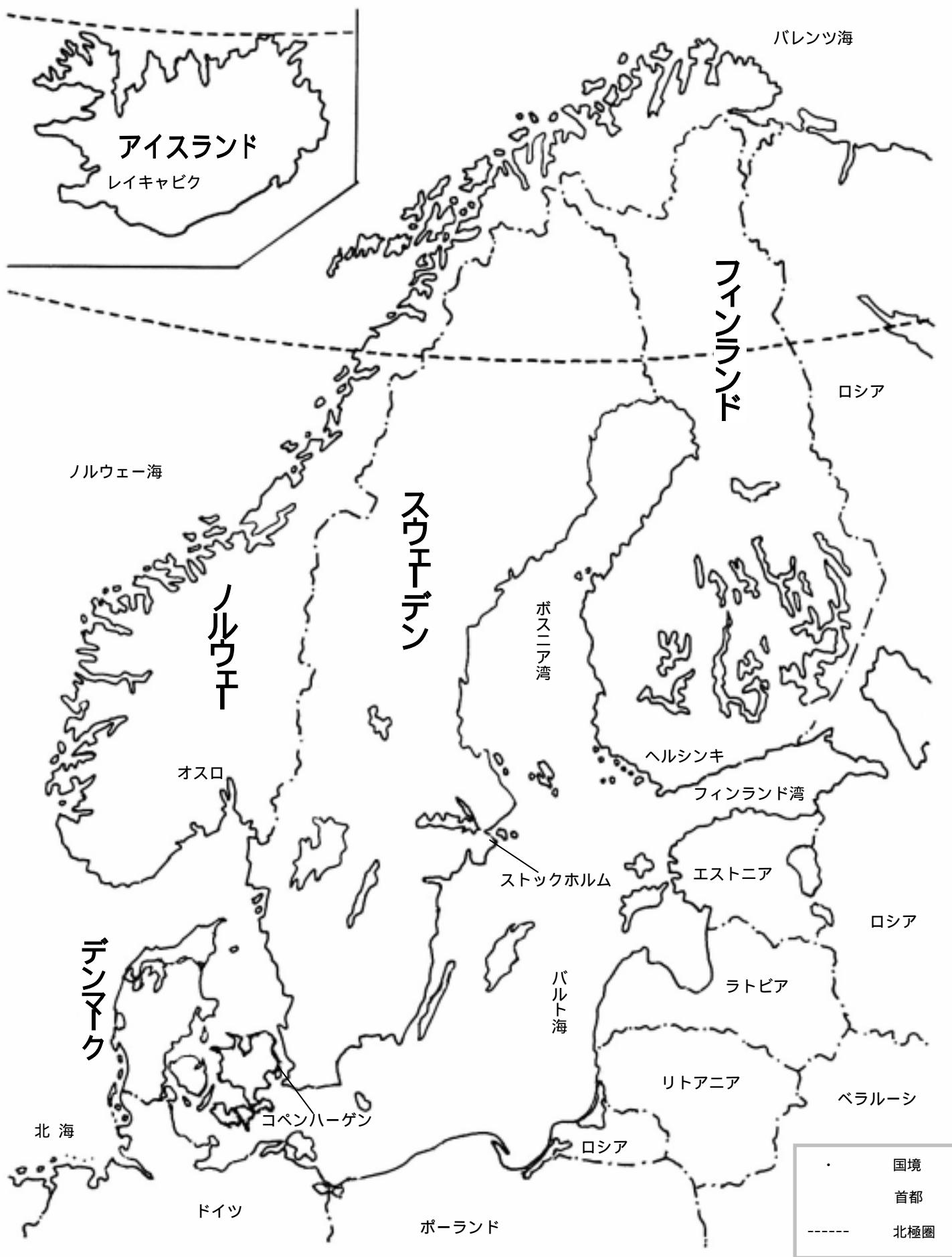
今回は日本でもよく知られている作品の訳本や絵本も交えて、親しみやすい展示内容としました。

この展示会を通じて、美しい自然に育まれたロマン溢れる北欧の近代文学の世界を感じていただければ幸いです。

なお、この展示にあたって、本学文学部北欧学科山下泰文教授、福井信子助教授にご協力いただきました。

東海大学付属図書館





《 北欧の近代文学 》

北欧の5か国 デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、アイスランドは、それぞれに様々な歴史を経て現在にいたっている。17世紀の三十年戦争を機に強力な国家を形成していったスウェーデンと、北欧の中心国であったはずが小国への道を余儀なくされたデンマークとでは、いろいろな意味で対照的である。また、長い間他国の支配を受けていたノルウェーとフィンランドでは、19世紀になってから民族意識が急激に高まっていく。このような歴史を反映して、文学においても、北欧としてのまとまりは保たれながら国によって多様な姿が見られる。

19世紀のはじめ、デンマークではエーレンシュレーヤーが詩「黄金角笛」を書き、北欧の古代の栄光を詠った。1814年にデンマークの支配を離れたノルウェーでは、アスピヨルンセンとモーが昔話を収集出版し、ノルウェー語の文語の確立に貢献する。デンマークのアンデルセンが童話を書き始めた頃、1809年までスウェーデンの支配下にあったフィンランドでは、民族叙事詩カレワラが編纂される。フィンランド語はノルド語とは系統を異にする言語であるが、そもそもフィンランド国民のアイデンティティ確立に貢献したのは、ルーネベリ、トペリウスなどスウェーデン語系の作家であった。

19世紀後半のデンマークではプランデスの主導のもと、ヤコブセンなど自然主義・リアリズムの作家たちが活動する。さらにノルウェーのイプセン、ビヨルンソン、スウェーデンのストリンドベリなど、19世紀の北欧から世界的な文学が生まれた。20世紀に入るとモダニズムの文学が起こる一方で、ノルウェーはウンセットの歴史小説、ハムスンの社会小説など独自の歩みを見せる。

第二次世界大戦後、スウェーデンは現代社会について独特の進んだ危機意識を持つようになり、人間存在の根本を問うような作家たちが次々と生まれてくる。児童文学においてもリンドグレーンが登場し、北欧の児童文学を世界に広める存在となった。

（文学部北欧学科助教授 福井信子）

Oehlenschlager, Adam Gottlob
エーレンシュレーヤー アーダム
1779-1850

デンマーク生まれ。ロマン主義の詩人。俳優を目指していたが断念し、大学では法学を学ぶ。ヘンリック・ステフェンスの影響で詩に目覚める。1805-09年ヨーロッパに勉学旅行をし、帰国後コペンハーゲン大学の美学教授に指名される。1929年レンダの大教会でスウェーデンの詩人テングネールから<北欧詩人王>の冠を受ける。詩では「黄金角笛」(Guldhornene)が有名。他に劇詩「アラディンまたは不思議なランプ」(Aladdin eller den forunderlige Lampe)、シラー的歴史劇「ハーコン大伯」(Hakon Jarlhin Rige)など。

-
1. **Aladdin eller den forunderlige lampe : et lystspil** / Adam Oehlenschlager ; udgivet af danskla rforeningen ved Hans Jorgen Schiodt
København : Gyldendal
1965年 4. opl. 1冊
(アラディンまたは不思議なランプ)
 2. **Hakon jarl hin Rige** / Adam Oehlenschlager ; med oplysninger ved C. M. Rosenberg ; udg. af Danska rforeningen
København : Gyldendal
1964年 13. opl. 1冊
 3. **ハーコン大伯 / エーレンシュレーヤー著 ; 毛利三彌訳 (デンマ-ク文学作品集 所収)**
東京 : 東海大学出版会
1976年 1冊
原題 "Hakon jarl hin Rige"
 4. **デンマーク人の祖国の歌 / エーレンシュレーヤー著 ; 山室静訳 (峠湾と牧場の国から : 近代北欧詩集 所収)**
東京 : 弥生書房
1961年 1冊

Tegner, Esaias
テングネール エサイアス
1782-1846

スウェーデン、ヴァルムランド生まれ。ロマン主義詩人。家が貧しく、11歳で行政取締官事務所の見習いとなり、才能を見出される。ルンド大学で学位をとり、1805年美学の講師となる。1810年詩「永久のもの」(Det eviga)を出版。翌年「スヴェア」(Svea)により政治的かつ愛国的詩人として名を広める。また、アイスランドの古代Saga、フィリティヨフを現代的、詩的にうたった「フリティヨフ物語」(Frithiofs saga)は賞賛された。1812年ギリシャ語の教授となつた後、聖職につき、1824年にはヴェクシーエの司教となる。1840年に精神に異常をきたして、その後回復するが詩を作成することはなかった。

5. **Frithiofs saga / Esaias Tegner (Samlade skrifter 1 所収)**
Stockholm, [Sweden] : P.A. Norstedt & Soners
1923年 National Upplaga 1冊
(フリティヨフ物語)
6. **Frithiof's Saga (Poems by Tegner : The children of the Lord's supper / tr. from the Swedish by Henry Wadsworth Longfellow ; and Frithiof's saga, tr. by Rev. W. Lewery Blackley ; with an introduction by Paul Robert Lieder .. ; [Tegner, Esaias] 所収)**
New York : The American-Scandinavian Foundation
1914年 1冊
原題"Frithiofs saga"の英語版
7. **フリショフ物語 / エサイアス・テングネール著 ; 山口秀夫訳注**
東京 : 大学書林
1983年 1冊
8. **Samlade dikter 1 / Esaias Tegner**
Lund : Gleerup
1964年 1冊
(詩集)

Almqvist, Carl Jonas Love
アルムクヴィスト カール・ユーナス・ルーヴェ
1793-1866

スウェーデン生まれ。ロマン主義の小説家。1808年ウプサラ大学入学、1855年に国教教務局に勤務してスタンゲネーリウスを知る。理想的農民を実践するためヴァルムランドへ移るが失敗。ストックホルムに戻り1829年小学校の校長になった。「スウェーデン語の正しい綴りの教本」(Svensk rattstafnings-lara)、「スウェーデン語法」(Svensk Spraklara)など教育関係の著書を出している。他に「ムルニス」(Murnis)、「アモリーナ」(Amorina)などを収めた作品集「いばらの本」(Tornrosens bok)17巻などがある。職務怠慢で校長の職を追われ、その後詐欺などの嫌疑をかけられアメリカに逃亡。祖国に帰ろうとするがはたせず、ドイツ、ブレーメンにて1866年死去。

9. **Svensk spraklara / C.J.L. Almqvist**
Stockholm : Horbergska Boktryckeriet
1840年 3. uppl. 1冊
10. **Allman spraklara amnad att grundlägga och förbereda undervisningen i de sarskilda spraken / C.J.L. Almqvist**
Stockholm : Johan Horberg
1855年 2. uppl. 1冊

Rydberg, Viktor Abraham
リュードベリ ヴィクトル
1828-1895

スウェーデン、イエンシェーピング生まれ。小説家、詩人。母親の死後、6歳で里子に出される。1851年働きながら大学入学資格を取得。ルンド大学で法学を学ぶが生活のために断念。1855年にイエーテボリ貿易海運新聞に入社する。1862年に「キリストについての聖書の教え」(Bibelns lara om Kristus)はキリストの神性に関する学術研究書で一大反響を呼ぶ。イエーテボリ教育財団の講師、ストックホルム大学教授も勤めた。歴史小説「バルト海の海賊」(Fribytaren pa Ostersjon)、幻想小説「シンゴアラ」(Singoalla)、「最後のアテナイ人」(Den siste athenaren)など。哲学詩の完成者として高く評価されている。

-
11. *Blad for vinden ; Realisten Abrandsson / Viktor Rydberg (Svea : folk-kalender for 1891, fyrtiosjunde argangen / med bidrag af G. Froding ... [et al.] 所収)*
Stockholm : Albert Bonnier
1890年 1冊
 12. *Kristus och Magdalena / Viktor Rydberg (Svea : folk-kalender for 1893, fyrtionionde argangen / med bidrag af A.U. Baath ... [et al.] 所収)*
Stockholm : Albert Bonnier
1892年 1冊
 13. *Tomten / Viktor Rydberg ; ill. by Harald Wiberg*
[Stockholm] : Raben & Sjogren
c1960年 1冊

Ibsen, Henrik Johan
イプセン ヘンリック
1828-1906

ノルウェー東南部の港町シェーン生まれ。劇作家。父は町有数の商人であったが、イプセンが7歳の時に事業に失敗し、一家は田舎に引きこもった。15歳の時に港町グリムスタの薬屋の見習いとして住み込み、その後22歳までをそこで過ごす。20歳になったときラテン語教科書にあった古代ローマの貴族カティリーナを主人公にした「カティリーナ」(Catilina)を出す。生涯で26編の戯曲を発表。活動期を習作期、思想劇期、実験期、リアリズム期、リアリズム変容期に分けられる。作品は「人形の家」(Et dukkehjem)、「ペール・ギュント」(Peer Gynt)、「幽霊」(Gengangere)など多数。

-
14. *Et dukkehjem / Henrik Ibsen (Samlede verker 4 所収)*
Oslo : Gyldendal
1952年 1冊

15. 人形の家 / イプセン著；島村抱月訳 (角川文庫 497)

東京：角川書店

1952年 1冊

原題"Et dukkehjem"

16. Fruen fra havet / Henrik Ibsen (Samlede verker 5 所収)

Oslo : Gyldendal

1952年 1冊

17. 海の夫人 / イプセン著；島村抱月訳 (イプセン傑作集)

東京：早稲田大学出版部

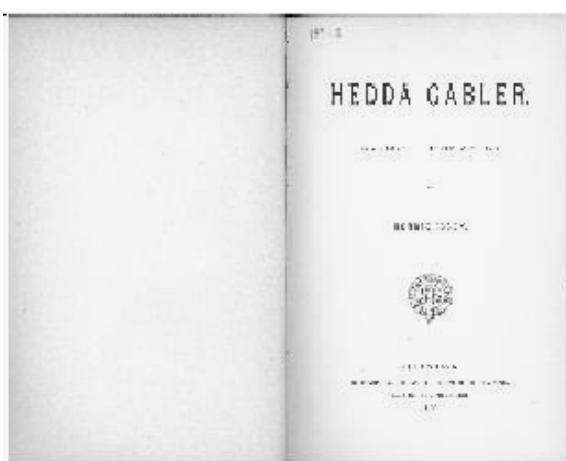
1914年 1冊

原題"Frauen fra havet"

18. Hedda Gabler : skuespil i fire akter / Henrik Ibsen

København : Gyldendalske Boghandels Forlag

1890年 1冊



資料18より

Bjornson, Bjornstjerne

ビヨルンソン ビヨルンスチエルネ

1832-1910

ノルウェー、ベルゲン生まれ。劇作家、小説家、詩人。牧師の父と商人の娘であった母のもとに生まれる。22歳のときから2年間(モルゲンブラー)紙の文芸欄を担当、その後ノルウェー劇場の監督、クリスチアニア芸術劇場(国立劇場の前身)芸術部門総支配人となる。農民が自然と調和して生きる姿を理想とし、1857年「日向が丘の少女」(Synnove Solbakken)の中で農民の生活を描いた。戯曲「能力以上」(Over a vne)、詩集「詩と歌」(Digte og sange)なども発表した。1903年にノーベル文学賞を受賞する。

19. Synnove Solbakken / Bjornstjerne Bjornson ; med illustrasjoner av Henrik

Sorensen

Oslo : Gyldendal

1968年 1冊

20. **日向丘の少女 / ピヨルンソン著；宮原晃一郎訳 (青春の書 5)**
東京：鎌倉文庫
1946年 1冊
原題 "Synnove Solbakken"
21. **Over a vne 1 / Bjornstjerne Bjornson (Gyldendals Studiefakler 11)**
Oslo : Gyldendal Norsk Forlag
1969年 1冊
22. **人力以上 / ピヨルンソン著；森鷗外訳 (鷗外全集 7 所収)**
東京：岩波書店
1972年 1冊
原題 "Over a vne" (能力以上)

Jacobsen, Jens Peter
ヤコブセン J.P.
1847-1885

デンマーク、ユトランド半島のティスティ生まれ。小説家。学生時代より生物学に興味をもち、ダーウィンについての論文も発表、「種の起源」などを翻訳している。1872年に自然主義的中編小説「モーエンス」(Mogens)を発表。他に「マリー・グレッベ夫人」(Fru Marie Grubbe)、代表作といえる「ニールス・リューネ」(Niels Lyhne)はデンマーク1890年代の象徴主義作家にまで大きな影響をあたえた。

23. **Fru Marie Grubbe (Samlede skrifter / J.P. Jacobsen 1 所収)**
Kjøbenhavn : Gyldendal
1923年 1冊
24. **マリー・グレッベ夫人 / ヤコブセン著；山室静訳 (ヤコブセン全集 3-4)**
東京：蒼樹社
1948年 2冊
25. **Niels Lyhne (Samlede skrifter / J.P. Jacobsen 2 所収)**
Kjøbenhavn : Gyldendal
1923年 1冊
26. **死と愛：ニイルス・リイネ / ヤコブセン著；山室静訳 (角川文庫 231)**
東京：角川書店
1951年 1冊
原題 "Niels Lyhne" (ニールス・リューネ)

Strindberg, Johan August
ストリンドベリ アウグスト
1849-1912

スウェーデン、ストックホルム生まれ。劇作家、小説家。父は船舶業代理人で裕福であったが、ストリンドベリが4歳の時に破産する。18歳でウプサラ大学に入学。俳優を志すが失敗し、作家を目指す。1869年に書いた戯曲は劇場で受理されなかつたが翌年「ローマにて」(I Rom)は王立ドラマ劇場で初演され、成功した。1879年に出版した小説「赤い部屋」(Roda Rummet)はスウェーデン初の自然主義小説といわれ一躍名をはせる。他に戯曲「父」(Fadren)、近代リアリズム劇最高のひとつといわれる「令嬢ジュリー」(Froken Julie)、「ダマスカスへ」(Till Damaskus)などがある。

-
27. **Fran havet. Fran fjärdingen och svartbacken. Roda rummet** (Skrifter av August Strindberg / August Strindberg 1 所収)

Stockholm : A. Bonnier
1954年 1冊

28. **北欧3カ国語で読むストリンドベリの赤い部屋：第1章～第3章** = Roda rummet = Det rode rommet = Det rode va relse / ストリンドベリ著；古城健志編訳

東京：大学書林
2003年 1冊
原題"Roda rummet"

29. **Froken Julie** (Skrifter av August Strindberg / August Strindberg 12 所収)

Stockholm : A. Bonnier
c1957年

30. **伯爵令嬢** / ストリンドベリ著；島村民藏訳 (近代脚本叢書 5)

東京：現代社
1913年 1冊
原題"Fröken Julie" (令嬢ジュリー)

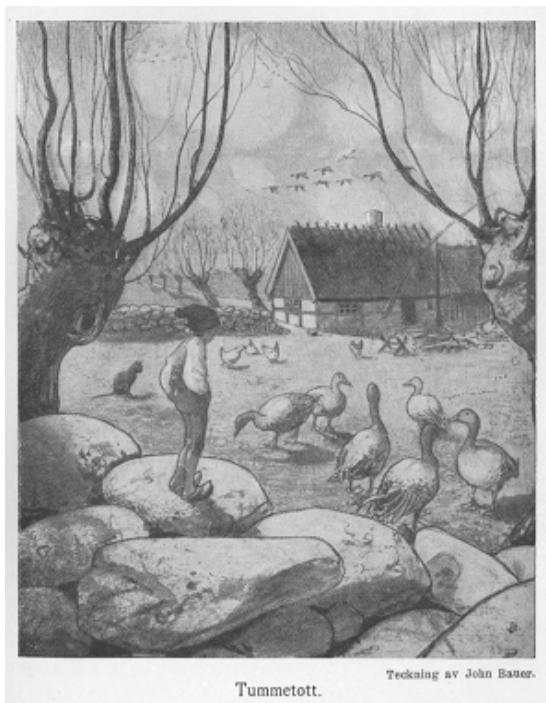


資料30より

Lagerlof, Selma Ottiliana Lovisa
ラーゲルレーヴ セルマ
1858-1940

スウェーデンのヴァルムランド生まれ。女流作家。ストックホルムの高等師範学校卒業後、ランスクルーナで教師となる。教師をしながら創作を始め1890年に「イエスタ・ベルリング物語」(Gosta Berlings saga)で「イデューン」誌の懸賞に応募し一等賞を獲得する。1901年、スウェーデン教育界で新しい教科書運動が起こり、スウェーデンの地理の教科書作成を依頼される。その時作成されたのが「ニルスのふしきな旅」(Nils Holgerssons underbara rega genom Sverige)である。「見えざるきずな」(Osynliga lankar)「反キリストの奇跡」(Antikrists mirakler)など著作あり。1909年ノーベル文学賞を受賞する。

-
- 31. **Gosta Berlings saga / Selma Lagerlof**
Stockholm : Broderna Lagerstrom
1909年 1冊
 - 32. **ゲスター・ベルリング / セルマ・ラーゲルレーヴ著；野上彌生子訳**
東京 : 家庭讀物刊行會
1921年 1冊
原題"Gosta Berlings saga" (イエスタ・ベルリング物語)
 - 33. **Nils Holgerssons underbara resa genom sverige / Selma Lagerlof**
Stockholm : Albert Bonnier
1906-1907年 2冊
 - 34. **Nils Holgerssons underbara resa / Selma Lagerlof ; berättad i bild av Hans Malmberg**
Stockholm : Bonniers
c1962年 1冊



Teckning av John Bauer.

資料33より

35. ニルスのふしぎなたび / セルマ・ラーゲルレーヴ著；小山勝清編（幼年世界名作文学全集 10）
東京：小学館
1963年 1冊
原題"Nilsson's underbara resa genom sverige"

36. きよしこのよる / セルマ・ラーゲルレーヴ作；ドミニク・ルクレール絵；なかむらた
えこ訳
東京: 新教出版社
1992年 1冊
原題"Die Heilige Nacht"

Heidenstam, Carl Gustaf Verner von
ヘイデンスタム ヴァーネル・フォン
1859-1940

スウェーデン、オルスハンマル生まれ。詩人、作家。病身のため学校教育を途中でやめ転地療養を兼ね1876-1887年、外国を旅行する。その間にストリンドベリとの交際で影響を受ける。1887年帰国後、詩集「巡礼と放浪の歳月」(Vallfart och vandringsar)でデビュ-する。「詩集」(Dikter)、歴史小説「カール12世の兵士たち」(Karinerna)など。その後ストリンドベリとの反目ののち、ロマン主義転じて古典主義となった。1916年にノーベル文学賞受賞する。

37. Vallfart och vandringsar : dikter / Verner von Heidenstam
Stockholm : Albert Bonniers
1888年 1冊

38. 詩集巡礼と遍歴の歳月(抄) / ヘイデンスタム著；尾崎義訳（ノーベル賞文学全集 23 所収）
東京：主婦の友社
1971年 1冊
原題"Vallfart och vandringsar" (巡礼と放浪の歳月)

39. Dikter / Verner von Heidenstam
Stockholm : Albert Bonnier
1895年 1冊
(詩集)

40. Karolinerna : Berättelser / Verner von Heidenstam
Stockholm : Albert Bonnier
1897-1898年 2冊
(カール12世の兵士たち)

Hamsun, Knut
ハムスン クヌート
1859-1952

ノルウェー、ギュブランスダール生まれ。小説家、劇作家、詩人。北ノルウェーの美しく草原名自然の中に成長する。15歳で堅信礼を受けた後、靴職人、教会の下男、補助教員など転々と職業を変え、18歳の時に「謎」(Den Gaadefulde)を出版。1882年から1886年に渡米するが馴染めず帰国。帰国後雑誌に「飢え」(Sult)を発表し、社会的次元とは全く異なる無縁の個人的次元から描写し、注目される。1917年開拓農民を生活を描いた「土の恵み」(Markens grode)でノーベル文学賞を受賞する。

41. **Sult / Knut Hamsun (Lanterne-bokene 50)**
Oslo : Gyldendal
1974年 1冊
42. **飢ゑ / クヌート・ハムスン著；宮原晃一郎訳 (泰西最新文藝叢書 1)**
東京 : 新潮社
1921年 1冊
43. **Markens grode / Knut Hamsun (Lanterne-bokene 126)**
Oslo : Gyldendal
1969年 1冊
44. **収穫 / クヌート・ハムスン著；中野郁夫訳**
東京 : 万里閣新社
1956年 1冊
原題"Markens grode" (土の恵み)

Unset, Sigrid
ウンセット シーグリ
1882-1949

デンマークのカルンドボー生まれ。ノルウェーにて小説家として活躍。少女時代より中世に关心をいだく。「マルタ・アウリー夫人」(Fru Marta Oulie)でデビュー。「イェンニー」(Jenny)で作家としての地位確立。サガの時代を題材とした「ヴィガ=ヨットとヴィグディスの物語」(Fortsællingen om Viga-Ljot og Vigdis)、「クリスティン・ラヴランスダッテル」(Kristin Lavrandsdatter)など一連の中世を舞台とした小説を発表。ノーベル文学賞を1928年に受ける。かねてからナチスの人種政策に反対していた彼女はナチスノルウェー侵入の際にシベリアから日本を経由しアメリカへ亡命する。

45. **Fru Marta Oulie. Den lykkelige alder/ Sigrid Undset (Romaner og fortellinger fra nutiden 1)**
Oslo : H. Aschehoug
1964年 1冊
(マルタ・アウリー夫人、他)

46. **Jenny / Sigrid Undset**
Oslo : Aschehoug
1967年 1冊
(イエンニー)
47. **Kristin Lavrandsdatter / Sigrid Undset (Middelalder-romaner 1 所収)**
Oslo : Aschehoug
1958年 5冊
(クリスティン・ラヴランズダッテル)
48. **花嫁の冠 /ウンセット著；矢崎源九郎訳 (世界の文学 22 所収)**
東京 : 中央公論社
1966年 1冊
原題"Kristin Lavrandsdatter"の三部作の第1部

Sillanpaa, Frans Eemil
シッランパー フランス・エーミル
1888-1964

フィンランド、ハメーンキュロの貧農の家に生まれる。作家。苦学しへルシンキ大学で生物学、植物学を学んだ。大学在学中ロシア文学に親しみ、ヘルシンキの芸術家グループに参加。作曲家シベリウス、画家ハロネンほか一流の芸術家と接し、影響を受けた。「人生と太陽」(Elama ja aurinko)でデビュー。1917年の独立戦争の翌年に起きた内戦に身を投じた農民を描いた「聖貧」(Hurskas Kurjuus)が出世作となった。他に彼の名前を世界的に広めた「若く逝きし者」(Nuorena nukkunmut)、「男の道」(Miehen tie)などがある。フィンランドでただ一人のノーベル文学賞受賞者(1939年受賞)。

49. **Hurskas kurjuus : paattynyt suomalainen elamakerta / F.E. Sillanpaa**
Helsingissa : Kustannusosakeyhtiö Otava
1971年 1冊
50. **聖貧 / フランス・エーミル・シッランパー著；柳澤恭雄訳**
東京 : 実業之日本社
1940年 1冊
原題" Hurskas Kurjuus "
51. **Nuorena nukkunut : eli Vanhan sukupuun viimeinen vihanta / F.E. Sillanpaa**
Helsingissa : Kustannusosakeyhtiö Otava ,
1972年 1冊
(若く逝きし者)

Lagerkvist, Par Fabian
ラーゲルクヴィスト パール
1891-1974

スウェーデンヴェクシェー市生まれ。詩人、作家。信仰心の篤い両親のもとに育った。ウプサラ大学で美術史を数学期学んだ後、短編集「人間」(Manniskor)でデビュー。その後、パリに行き、フランスの近代美術に強い影響を受け「言葉の芸術と絵の芸術」(Ordkonst och bildkonst)を著し、斬新な表現派文学を提唱した。ノーベル賞受賞対象作ともなった小説「バラバ」(Barabbas)、詩集「モチーフ」(Motiv)など著作多数。1951年にノーベル文学賞を受賞する。

-
52. **Manniskor** : novell / Par Lagerkvist
Stockholm : Fram
1912年 1冊
(人間)
53. **Barabbas** : skadespel i tva akter / Par Lagerkvist
Stockholm : Bonnier
1953年 1冊
54. **バラバ** / ラーゲルクヴィスト著；尾崎義訳 (岩波現代叢書)
東京 : 岩波書店
1964年 1冊
55. **巫女** / ラーゲルクヴィスト著；山下泰文訳 (岩波文庫 赤(32)-757-2)
東京 : 岩波書店
2002年 1冊
原題 "Sibyllan"

Johnson, Eyvind Olof Verner
ユーンソン エイヴィンド
1900-1976

スウェーデン、ノルボッテン生まれ。小説家。4歳で親戚の養子となり、14歳で家を出、いろいろな仕事につきながら労働組合運動に参加。1921年からベルリン、パリで過ごし、ヨーロッパの前衛的な文学に染まる。代表作は自伝小説(ウーロヴの物語)4部作で「今は1914年」(Nu var det 1914)、「これがお前の人生」(Har har du ditt liv)、「振り返るな」(Se dig inte om)、「青年時代の終幕」(Slutspel i ungdomen)である。第二次世界大戦が近づくと、ナチスとソ連の全体主義を激しく攻撃。1974年にノーベル文学賞を受賞する。

-
56. **De fyra framlingarna** / Eyvind Johnson
Stockholm : Tidens forlag
1924年 1冊
(四人の異邦人)

57. **Nu var det 1914** / Eyvind Johnson

Stockholm : Albert Bonniers

1934年 1冊

(今は1914年)

58. **Har har du ditt liv!** / Eyvind Johnson

Stockholm : Albert Bonniers

1935年 1冊

(これがお前の人生)

59. **Se dig inte om!** / Eyvind Johnson

Stockholm : Albert Bonniers

1936年 1冊

(振り返るな)

60. **Slutspel i ungdomen** / Eyvind Johnson

Stockholm : Albert Bonniers

1937年 1冊

(青年時代の終幕)

61. **Strandernas svall : en roman om det narvarande** / Eyvind Johnson

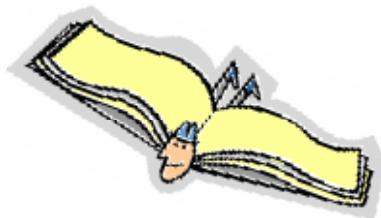
Stockholm : Albert Bonnier

1946年 1冊

62. **暗い歳月の流れに** / エイヴィンド・ユーンソン著；谷口幸男訳

東京 : 三笠書房

1975-1977年 2冊



Laxness, Halldor Kiljan

ラックスネス ハルドゥル・キリヤン

1902-1998

アイスランド、レイキャビク生まれ。作家、随筆家、劇作家。教育熱心な両親のもと、早くに文才を現し、17歳で処女作「自然の子」(Barn Natturunnar)を出す。その後コペンハーゲン、ドイツ、フランス、カナダ、アメリカなど、長い海外生活を送る。初期の頃は抒情的な作風であったが、ストリンドベリやウンセットや、道教、カトリック、シュルレアリスムなどの影響を受け、作風は変わっていった。1955年にアイスランド人として初めてノーベル文学賞を受賞する。

63. **Atomstodin : skaldsaga** / Halldor Laxness

Reykjavik : Vaka-Helgafell

1987年 3. utgafa 1冊

64. **原爆基地** / ラックスネス著；山室静訳 (ノーベル賞文学全集 13 所収)

東京 : 主婦の友社

1972年 1冊

原題 "Atomstodin"

65. **Kristnihald undir jokli : skaldsaga / Halldor Laxness**
Reykjavik : Vaka-Helgafell
1990年 2. utgafa 1冊

66. **極北の秘教 / ラックスネス著；渡辺洋美訳**
東京 : 工作舎
1979年 1冊
原題 "Kristnihald undir jokli"

Martinson, Harry Edmund
マッティンソン ハリイ
1904-1978

スウェーデン、ブレーキング生まれ。詩人、作家。6歳で父が死亡し、翌年母親が移民としてアメリカに渡り、残されたマッティンソンは転々と農場に預けられながら育つ。16歳で船乗りになって世界各地を遍歴する。1929年詩集「幽霊船」(Spokskepp)でデビューする。作品としては船員時代の経験をもとに紀行文「あのない旅」(Resor utan mal)「さよなら岬！」(Kap Farval!), 不幸な幼少時代の自伝的小説「イラクサの花咲く」(Nasslorna blomma)や、放浪者の人生を描いた小説「クロックリーケへの道」(Vagen till Klockrike)、詩「蝉」(Cikada)、「アニアーラ」(Aniara)などがある。1974年ノーベル文学賞を受賞する。

67. **幽霊、灯台守、恵みなきものたち、他 / マッティンソン著；田中三千夫訳 (ノーベル賞文学全集 26 所収)**
東京 : 主婦の友社
1976年 1冊

68. **Vagen till Klockrike / Harry Martinson**
[Stockholm] : Bonniers
c1948年 1冊
(クロックリーケへの道)

69. **Cikada : dikter / Harry Martinson**
Stockholm : Bonnier
1953年 1冊
(蝉)



70. **Aniara : en revy om manniskan i tid och rum / Harry Martinson (Delfinserien 79)**
Stockholm : Aldus-Bonniers
1970年 3. uppl. 1冊
(アニアーラ)

Andersen, Hans Christian
アナセン ハンス・クリスチャン (アンデルセン)
1805-1875

デンマークの代表的な作家、詩人。幻想色豊かな短編形式の物語＜エーヴェンチュア＞を子供の読み物に導入し、近代児童文学の誕生に貢献。会話調で物語る文体を用いてデンマーク文学に口語体を定着させた。

デンマーク、オーデンセの貧民街生まれ。14歳の時、舞台役者にあこがれコペンハーゲンに出て、王立劇場付属の養成所で学ぶが夢破れる。その後ラテン語学校で学ぶが校長の気性に順応できず中退。個人教授を受けて、1828年コペンハーゲン大学に入学。1829年にデビュー作小説「徒步旅行」(Fodreise fra Holmens Kanal til Ostpynten af Amager)を出版。学士候補資格試験に合格すると大学をやめ、作家として自立の道に進む。

1833年から1年4ヶ月、国の奨学金で海外旅行へ出かけ、1835年ローマで執筆した小説「即興詩人」(Improvisatoren)は国内外に名を広める出世作となった。同年、物語集「子供に話して聞かせるエーヴェンチュア」(Eventyr, fortalte for Born)を出版。以後「新しいエーヴェンチュア」(Nye Eventyr)、「エーヴェンチュアとヒストリア」(Eventyr og Historier)などを出版。アンデルセンの＜エーヴェンチュア＞は生存中にすでに少なくとも30言語に翻訳され、現在でも世界中で読まれ親しまれている。終生を＜孤高の旅人＞として過ごしたアンデルセンは、通算30回の海外旅行にかけ、多くの優れた紀行も生み出している。

1875年8月4日コペンハーゲンのメルキオーア家の別荘ローリヒッドにて永眠。
1953年に国際アンデルセン賞が創設。児童文学のノーベル賞と呼ばれている。

71. *Improvisatoren* / H.C. Andersen (Udvalgte skrifter 1)

København : Gyldendal
1898年 1冊

72. 即興詩人 / H.C.アンデルセン著；森鷗外訳

東京 : 春陽堂
1906年 2冊
原題 "Improvisatoren"

73. *Billedbog uden billede* / H.C. Andersen ; med forord af H. Topsøe-Jensen ; med billede af Marlie Branded

København : Berlingske forlag
1955年 1冊

74. 絵のない絵本；幸せもののピーア / H.C.アンデルセン著；デンマーク王立国語国文学会編；鈴木徹郎訳 (アンデルセン小説・紀行文学全集 5)

東京 : 東京書籍
1987年 1冊
原題 "Billedbog uden billede"

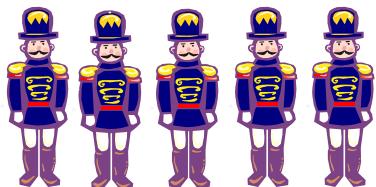
75. **Den lille havfrue (Eventyr og historier / H.C. Andersen ; med tegninger af Vilhelm Pedersen og Lorenz Frølich 1 所収)**
 [出版地不明] : Sesam
 c1988年 1冊
76. **The little mermaid; The tinder box / H.C. Andersen ; translated from the Danish by Paul Leyssac ; with the original illustrations by Vilhelm Pedersen**
 Copenhagen : Official Tourist Association of Denmark
 1939年 1冊
 原題"Den lille havfrue"の英語版
77. **人魚の願ひ : アンデルセン物語 / H.C.アンデルセン著 ; 木村小舟編**
 東京 : 話の友社
 1948年 1冊
 原題"Den lille havfrue"
78. **北欧童話集・人魚姫 / H.C.アンデルセン原作 ; 山室静著 (ざくろ文庫 8)**
 東京 : 能楽書林
 1949年 1冊
 原題"Den lille havfrue"
79. **Tommelise (Samlede eventyr og historier / H.C. Andersen ; med tegninger af Vilhelm Pedersen og Lorenz Frølich 1 所収)**
 [København] : Gyldendal
 1972年 1冊



<人魚姫の像>

湘南校舎の噴水池のほとりには、アンデルセンの童話で有名な「人魚姫」の像がある。この像は、デンマークの首都コペンハーゲン、ラングリーニュ海岸にある像（1913年エドワード・エリクセン製作）の1/2の大きさで、本学とデンマークとの友好親善に対してコペンハーゲン市から1971年に寄贈されたものである。本学の創始者である松前重義博士は、敗戦で荒廃した19世紀のデンマーク復興をはかるために国民の教育を提唱し、デンマーク国民教育の父といわれる「グルントヴィ」の思想に感銘を受け、本学の創立へとつなげた。コペンハーゲン市には、本学のヨーロッパ学術センターが設置されており、デンマークと日本との文化交流の拠点となっている。

80. *Thumbelina* / H.C. Andersen ; illustrated by Josef Paleček ; English translation by M.R. James (A Nord-Süd picturebook)
 Mönchaltorf : Nord-Süd Verlag
 c1975年 1冊
 原題”Tommelise”の英語版
81. *おやゆびひめ* / H.C.アンデルセン作；南塚直子絵；森絵都訳
 東京：白泉社
 2001年 1冊
 原題”Tommelise”
82. *Den standhaftige Tinsoldat* (H.C. Andersens eventyr 1 所収)
 København : Reitzel
 1963年 1冊
83. *The Steadfast tin soldier* / a story by H.C. Andersen ; with pictures by Monika Laimgruber
 London : Hamish Hamilton
 c1970年 1冊
 原題”standhaftige Tinsoldat”の英語版
84. *ナマリの兵隊* / H.C.アンデルセン文；マーシア・ブラウン絵(岩波の子どもの本)
 東京：岩波書店
 1954年 1冊
 原題”standhaftige Tinsoldat”



85. *Den grimme ælling* / H.C. Andersen ; illustreret af Svend Otto S.
 København : Gyldendal
 1975年 1冊

86. *The Ugly duckling* / illustrated by Marge Opitz (Tip-Top elf book)
 Chicago : Rand McNally
 c1969年 1冊
 原題”Den grimme a lling ”の英語版

87. *Het Lelijke jonge eendje* / litho's naar het sprookje van H.C. Andersen in vijfkleurendruk gereproduceerd ; [illustrated by] Theo Van Hoytema
 Laren : A. G. Schoonderbeek
 1970年 1冊
 原題”Den grimme a lling ”のオランダ語版

88. *O patinho feio / [história de H.C. Andersen]* (Coleção samba-lel 2)
Rio de Janeiro : Editora Brasil-América
c1962年 1冊
原題”Den grimme ælling”のポルトガル語版
89. みにくいあひるの子 : こども・アンデルセン / H.C.アンデルセン原作 ; 山下正雄著
(二葉幼年文庫)
東京 : 二葉書店
1947年 1冊
原題”Den grimme ælling”
90. *Snedronningen (Samlede eventyr og historier / H.C. Andersen ; ill. af danske kunstnere, 1837-1974 ; billedred., og indledning, Erik Dal 5 所収)*
København : Lademann
1975年 Mindeudg版 1冊
91. *The Snow queen (Hans Andersen's fairy stories. / H.C. Andersen ; illustrations by mar Margaret W. Tarrant 所収)*
London : Ward, Lock & Co., Limited
[1875]年 1冊
原題”Sneedronningen”の英語版
92. 雪の女王 / H.C.アンデルセン著 ; 濱田廣介訳 (少年世界文学選)
東京 : 京屋出版社
1948年 1冊
原題”Sneedronningen”
93. *Den lille pige med svovlstikkerne (Eventyr og historier / H.C. Andersen ; med tegninger af Vilhelm Pedersen og Lorenz Frølich 2 所収)*
[出版地不明.] : Sesam
c1988年 1冊
94. *The little match girl / H.C. Andersen ; illustrated by Blair Lent*
Boston : Houghton Mifflin
c1968年 1冊
原題”Den lille pige med svovlstikkerne”の英語版
95. マッチうりのしようじょ / H.C.アンデルセン原作 ; 竹崎有斐翻案 ; 初山滋画 (こどものとも . 心のかてを与える「母の友」絵本 9)
東京 : 福音館
[1956]年 1冊
原題”Den lille pige med svovlstikkerne”
96. マッチうりの少女 : 名作童話繪ばなし / H.C.アンデルセン原作 ; 小春久一郎文 ;
高井貞二画
大阪 : 昭和出版
1947年 1冊
原題”Den lille pige med svovlstikkerne”

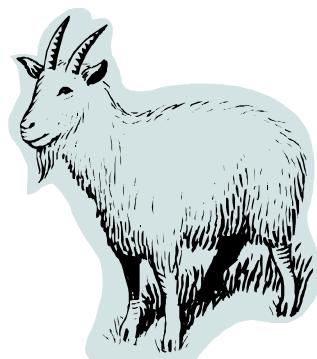
Asbjornsen, Peter Christen
アスピヨルンセン ペーテル・クリステン
1812-1885

ノルウェー生まれ。民話収集家、牧師、自然学者。イエルゲン・モーと共同で各地の民話を集めて「ノルウェー民話集」(Norske Folkeeventyr)を出版した。単独では「ノルウェー妖精民話と伝説」(Norske Huldreeventyr og Folkesagn)を発表。民族文化の高揚に貢献する。イーヴァル・オーセンらと共に、ノルウェーの民族ロマン主義の旗手となった。

Moe, Jorgen
モー イエルゲン
1813-1882

ノルウェー生まれ。民話収集家、聖職者。アスピヨルンセンと民話を収集し「ノルウェー民話集」(ノルウェーの民話)(Norske Folkeeventyr)を出した。民族ロマン主義の高揚に力を尽くした。1875年からはクリスチアンサン司教を務めた。

97. *Samlede eventyr : med alle de originale tegnigene / P. Chr. Asbjornsen og Jorgen Moe*
Oslo : Gyldendal Norsk
1989年 2冊
98. **太陽の東月の西 / アスピヨルンセン編 ; 佐藤俊彦訳 (岩波少年文庫 162)**
東京 : 岩波書店
1958年 1冊
原題 "Samlede eventyr"
99. **三びきのやぎのがらがらどん : アスピヨルンセンとモーの北欧民話 / マーシャ・ブラウン絵 ; せたていじ訳 (世界傑作絵本シリーズ)**
東京 : 福音館書店
1965年 1冊
100. **ノルウェーの民話 / アスピヨルンセン, モー共著 ; 米原まり子訳**
東京 : 青土社
1999年 1冊
原題 "Norwegian folktales"



Topelius, Zacharias
トペリウス サカリアス
1818-1898

フィンランド、北極圏に近いクードネス生まれ。児童文学作家、詩人、小説家歴史学者。口承文芸採集者、医者である父と、祖国愛を謳う大詩人のルーネベリから教育を受けた。ヘルシンキ大学で歴史を学ぶかたわら、ロシアからの独立を願う民族主義運動に参加。作品は郷土愛を謳った処女詩集「ヒースの花」(Ljungblommor)、長編歴史小説「軍医物語」(Fältskarns berättelser)、彼の名を世に知らしめた「子どもの読み物」(Lasning for barn)、「星のひとみ」(Stjarnoga)などがある。彼は、従来の大人の押し付けの児童文学を拒否し、子どもの自主性、人間愛、祖国愛、神の愛、向上心を刺激する作品を生んだ。

-
101. *Runebergs ord till Bjorneborgarnes marsch* / Z. Topelius
(Svea : folk-kalender for 1894, femtioende argangen)
Stockholm : Albert Bonnier
1893年 1冊
102. **星のひとみ** / サカリアス・トペリウス作；万沢まき訳 (岩波世界児童文学集 14)
東京 : 岩波書店
1994年 1冊
原題"Stjarnoga"
103. *Lukemisia lapsille* / Z. Topelius
Helsinki : Werner Soderstrom Osakeyhtio
1982年 1冊



資料104より

Svensson, Jon Stefan
スヴェンソン ヨウン・ステファウン
1857-1944

北アイスランド、メドルフェリール生まれ。児童文学者、イエズス会士。デンマークで10年余り教師生活を送る。1913年から作家活動をはじめ、ノンニを主人公とする児童文学作品をドイツ語で書き、全世界に知られる。「ノンニ」(Nonni)「ノンニとマンニ」(Nonni und Manni)「日曜日」(Sonnentage)など。ノンニという名前は自身が幼い頃に母親に付けられた愛称である。

104. **ノンニの冒険 / スヴェンソン原作 ; 山室静著 (世界名作全集 82)**
東京 : 大日本雄弁会講談社
1954年 1冊
原題"Nonni"
105. **ノンニ兄弟の冒険 / スヴェンソン著 ; 上沢謙二訳**
東京 : 厚生閣
1937年 1冊
原題"Nonni und Manni"
106. **ノンニと氷のお國 / スヴェンソン著 ; 伊藤保訳**
東京 : 歐亞書房
1937年 1冊
原題"Sonnentage" (日曜日)

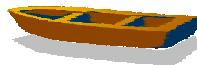
Lindgren, Astrid
リンドグレーン アストリッド
1907-2002

スウェーデン、ヴィンメルビュー生まれ。女性児童文学作家。豊かな自然とおおらかな家庭の中ですごす。高校卒業後、ストックホルムで会社に勤め、その後結婚。1945年に出した「長くつ下のピッピ」(Pippi Langstrump)で一躍有名になる。元気な子供たちの日常を描いた「やかまし村のこどもたち」(Alla vi barn i Bullerbyn)などの一連の作品や、こどもの探偵が推理に挑む「カッレくんの冒険」(Masterdetektiven Blomkvist), 孤児が主人公の「さすらいの孤児ラスムス」(Rasmus på luffen)、「ミオよ、わたしのミオ」(Mio, min Mio)など多数ある。1958年に国際アンデルセン賞を受け、1967年にアストリッド・リンドグレーリ賞が設定された。

107. **Känner du Pippi Langstrump? : Bilderbok / Astrid Lindgren och Ingrid Nyman**
[Stockholm] : Raben & Sjögren
1969年 7. upplagen 1冊
(長くつ下のピッピ)

108. *Pippi Longstocking* / Astrid Lindgren ; translated by Edna Hurup ; illustrated by Richard Kennedy
Harmondsworth : Puffin Books
1976年 1冊
原題”Pippi Langstrump”の英語版
109. *Pippi Langstrump gar ombord* / Astrid Lindgren ; med omslag och illustrationer av Ingrid Vang-Nyman
[Stockholm] : Raben & Sjogren
1969年 1冊
(ピッピ船にのる)
110. *Pippi goes aboard* / Astrid Lindgren ; translated by Marianne Turner ; newly illustrated by Richard Kennedy
London : Puffin Books
1977年 1冊
原題”Pippi langstrump gar ombord”の英語版
111. *Pippi Langstrump i Soderhavet* / Astrid Lindgren ; med omslag och illustrationer av Ingrid Vang-Nyman
[Stockholm] : Raben & Sjogren
1969年 1冊
(ピッピ南の島へ)
112. *Pippi in the south seas* / Astrid Lindgren ; translated by Marianne Turner ; illustrated by Richard Kennedy
London : Puffin Books
1979年 1冊
原題”Pippi Langstrump i Soderhavet”の英語版
113. *やかまし村の子どもたち* / リンドグレーン作 ; 大塚勇三訳 (岩波世界児童文学集 18)
東京 : 岩波書店
1993年 1冊
原題”Alla vi barn i Bullerbyn”
114. *The children of noisy village* / Astrid Lindgren ; illustrated by Ilon Wikland
translated by Florence Lamborn
New York : Puffin Books
1988年 1冊
原題”Alla vi barn i Bullerbyn”の英語版
115. *Var i Bullerbyn* / Astrid Lindgren ; med bilder av Ilon Wikland
[Stockholm] : Raben & Sjogren
1965年 1冊
(やかまし村の春)

116. **Jul i Bullerbyn** / Astrid Lindgren ; med bilder av Ilon Wikland
 [Stockholm] : Raben & Sjogren
 1969年 1冊
 (やかまし村のクリスマス)
117. **名探偵カッレくん** / リンドグレーン作 ; 尾崎義訳 (リンドグレーン作品集 8)
 東京 : 岩波書店
 1965年 1冊
 原題"Masterdetektiven Blomkvist" (カッレくんの冒険)
118. **Rasmus and the vagabond** / Astrid Lindgren ; translated by Gerry Bothmer ; illustrated by Eric Palmquist
 New York : Puffin Books
 1987年 1冊
 原題"Rasmus pa luffen"の英語版
119. **ラスムスくん英雄になる** / リンドグレーン作 ; 尾崎義訳 (リンドグレーン作品集 12)
 東京 : 岩波書店
 1965年 1冊
 原題"Rasmus, Pontus och Toker"
120. **Emil i Lonneberga** / Astrid Lindgren ; teckningar av Bjorn Berg
 Stockholm : Raben & Sjogren
 1975年 10. uppl. 1冊
 (エーミールと大どろぼう)
121. **Ronia, the robber's daughter** / Astrid Lindgren ; translated by Patricia Crampton
 New York : Puffin Books
 1985年 1冊
 原題"Ronja rovardotter"の英語版
122. **山賊のむすめローニャ** / リンドグレーン作 ; 大塚勇三訳 (岩波世界児童文学集 24)
 東京 : 岩波書店
 1994年 1冊
 原題"Ronja rovardotter"



Jansson, Tove Marika
ヤンソン トーベ
1914-2001

フィンランド、ヘルシンキ生まれ。作家、画家。フィンランド系のスウェーデン語で作品を書いた。1945年「小さなトロールと大きな洪水」(Smatrollen och den stora oversvamningen)でデビューした。この作品は特に注目されなかつたが、その後その物語をモチーフとしたムーミンの童話シリーズが出版され、それは33言語以上にも翻訳され大人も含め世界中で読まれ親しまれている。ヤンソンはムーミンシリーズだけでは無く大人向けの小説、絵などの作品を次々に生み出し、国際アンデルセン賞をはじめ多くの賞を受賞している。「ムーミン谷の彗星」(Kometen kommer)「たのしいムーミン一家」(Trollkarlens hatt)「ムーミンパパの思い出」(Muminpappans Memoarer)「ムーミン谷の夏まつり」(Farlig midsommar)など多数の作品がある。

-
123. 小さなトロールと大きな洪水 / トーベ・ヤンソン作・絵；富原真弓訳（ムーミン童話全集 別巻）
東京：講談社
1992年 1冊
原題”Smatrollen och den stora oversvamningen”
124. Comet in Moominland / written and illustrated by Tove Jansson ; translated by Elizabeth Portch
London : Puffin Books
1967年
1冊
原題”Kometen kommer”の英語版
125. ムーミン谷の彗星 / トーベ・ヤンソン作・絵；下村隆一訳（ムーミン童話全集 1）
東京：講談社
1990年 1冊
原題”Kometen kommer”
126. Finn family Moomintroll / written and illustrated by Tove Jansson ; translated by Elizabeth Portch
London : Puffin Books
1961年 1冊
原題”Trollkarlens hatt”の英語版
127. Taikurin hattu : Tekijan kuvittama / Tove Jansson
[Porvoo] : W. Soderstrom
1966年 1冊
原題”Trollkarlens hatt”のフィンランド語版
128. - / []
1976年 1冊
原題”Trollkarlens hatt”のロシア語版

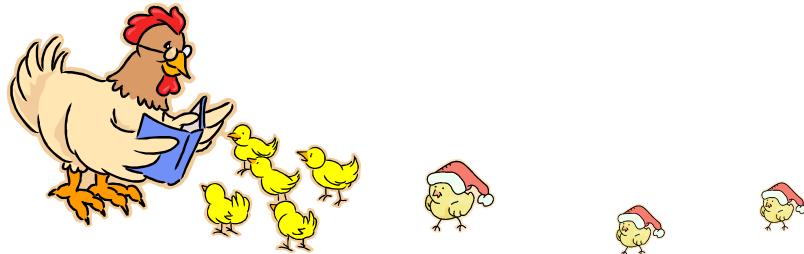
129. **たのしいムーミン一家** / トーベ・ヤンソン作・絵；山室静訳（ムーミン童話全集 2）
東京：講談社
1990年 1冊
原題”Trollkarlens hatt”
130. **The exploits of Moominpappa** : described by himself / set down and illustrated by Tove Jansson ; translated by Thomas Warburton
London : Puffin Books
1988年 1冊
原題”Muminpappans memoarer”の英語版
131. **ムーミンパパの思い出** / トーベ・ヤンソン作・絵；小野寺百合子訳（ムーミン童話全集 3）
東京：講談社
1990年 1冊
原題”Muminpappans memoarer”
132. **Vaarallinen juhannus** : Tekijan kuvittama / Tove Jansson
Porvoo : Wernaer Soderstrom Osakeyhtio
1970年 1冊
原題”Farlig midsommar”のフィンランド語版
133. **Moominsummer madness** / written and illustrated by Tove Jansson ; translated by Thomas Warburton
London : Puffin Books
1988年 1冊
原題”Farlig midsommar”の英語版
134. **ムーミン谷の夏まつり** / トーベ・ヤンソン作・絵；下村隆一訳（ムーミン童話全集 4）
東京：講談社
1990年 1冊
原題”Farlig midsommar”
135. **Taikatalvi** : Tekijan kuvittama / Tove Jansson
Porvoo : W. Soderstrom
1973年 1冊
原題”Trollvinter”のフィンランド語版
136. **Moominland midwinter** / written and illustrated by Tove Jansson ; translated by Thomas Warburton
London : Puffin Books
1988年 1冊
原題”Trollvinter”の英語版
137. **ムーミン谷の冬** / トーベ・ヤンソン作・絵；山室静訳（ムーミン童話全集 5）
東京：講談社
1990年 1冊
原題”Trollvinter”

138. *Tales from Moominvalley* / written and illustrated by Tove Jansson ; translated by Thomas Warburton
London : Puffin Books
1973年 1冊
原題"Det osynliga barnet"の英語版
139. ムーミン谷の仲間たち / トーベ・ヤンソン作・絵；山室静訳（ムーミン童話全集 6）
東京：講談社
1990年 1冊
原題"Det osynliga barnet"
140. ムーミンパパ海へいく / トーベ・ヤンソン作・絵；小野寺百合子訳（ムーミン童話全集 7）
東京：講談社
1990年 1冊
原題"Pappan och havet"
141. *Moominvalley in November* / written and illustrated by Tove Jansson ;
translated by Kingsley Hart
London : Puffin Books
1974年 1冊
原題"Sent i november"の英語版
142. ムーミン谷の十一月 / トーベ・ヤンソン作・絵；鈴木徹郎訳（ムーミン童話全集）
東京：講談社
1990年 1冊
原題"Sent i november"
143. *Who will comfort Toffle?* / by Tove Jansson ; [translated by Kingsley Hart]
London : Ernest Benn
1969年 1冊
原題"Vem skall trosta knyttet?" (さびしがりやのクニット) の英語版



参考文献

- ✧ 山室静著 「北欧文学の世界」 東海大学出版会, 1969
- ✧ 『世界文学大事典』編集委員会編 「集英社世界文学大事典」
集英社, 1996-1998
- ✧ 「東海大学学内散歩」 東海大学学長室広報課, 2004



発行日 2005年6月13日
印 刷 教育支援センター 印刷業務課
発行所 東海大学付属図書館
〒259-1292 平塚市北金目1117
TEL 0463-58-1211 (代)